

「海の出前授業」派遣レポート

- ・都道府県 東京都
- ・派遣先（学校名） 東京都葛飾区立 道上小学校
- ・授業タイトル 臨海学校で行く岩井海岸の海
- ・講師名 市川 洋
- ・派遣年月日 2017 年 7 月 8 日

派遣者コメント

千葉県南房総市岩井海岸で7月31日から8月2日に行われる臨海学校に参加する5年生125名を対象に、その臨海学校に向けての動機づけのための事前学習として、45分間の授業をおこなった。

岩井海岸の遠浅の海に面した砂浜で2日間過ごすことを契機として、児童の海への関心を高める内容とするために、東京湾および岩井海岸の地形の特徴、海岸に打ち寄せる波、沿岸・離岸流、砂浜の変形、潮の満ち引き、海の色、海水（塩分、水温）、海の生物（栄養塩、プランクトン、魚）について紹介をおこなった後、海洋全体の話として、海洋リテラシーの7項目について簡潔に説明することを計画した。児童の事前の「調べ学習」では、生物を対象とした項目が多いとこのことを担当教員からお聞きし、砂浜での生物や南房総市で漁獲される季節の魚介類についての記述を増やした。また、授業の概要、臨海学校実施期間中の予報潮位、海洋リテラシー等を記載した資料を作成し、事前の配布を依頼した。当日は、児童が「4-5人のグループごとに「調べ学習」で作成したポスターを授業前に見た。児童が、生物の他、世界の海の平均水深、海色、潮汐、などを既に調べているのを知り、予定していた授業内容の一部を微調整した。

最後に、質問への挙手回答によって、児童の感想を聞くことを予定していたが、時間がなくなって、できなかった。また、次の時間が、児童と保護者を対象にした臨海学校の説明会であったため、授業の後に学校関係者の方々とゆっくりお話しする機会はなかった。しかし、担当の先生によると、児童たちは授業内容に興味を持ち、いつになく集中していたとのことで、来年も依頼するかもしれないとの感想を頂いた。

葛飾区は区立の全小学校の5年生を対象に臨海学校を実施している。臨海学校のための「調べ学習」のまとめとして、今回のような形で学校教育に協力することは、海洋にかかわる教育の普及・推進の一環として、極めて有効と思われる。